

明日から第2テスト

校 長 武井 正明

私にとってゴルフとは、人生であり、地区大会であり、定期テストです。

大した実力もないですが、それでも真剣です。競技会当日のために、練習ラウンドをします。前回の課題を頭に入れて、廻ります。

そして当日を迎えます。結果は数字です。責任は総て自分。言い訳は言い訳に過ぎません。だから結果が良ければ嬉しいし、悪ければ落ち込みます。

自分の中学や高校時代、部活動でそういう真剣な気持ちで取り組んだ経験がないので、今は当時の自分を取り戻そうとしているのかもしれない。

自分なりにしっかり準備しても「不測の事態」というのは起きます。

そこで自分を冷静に保ちながら、次なる事態を防ぐレスキューカードを何枚持っているかが大事なのです。

これって、君たちの勉強と全く同じだと思いませんか？

明日のテストでどんな問題が出されるのか、よく推理する。…そういえばここは先生が何度も念を押して「出る」と言っていたな。去年の方程式の応用ではこんな問題が出たな。連立方程式の応用もきっと似た問題が出るのかもしれない…。

それでも当日、見たこともないような、予想外の問題が出ることもある。特に公立高校入試の数学なんかよくあることだ。

そういう時は…まずは落ち着くこと。そして今の自分にできることは何か、冷静に考えること。できもしないことはしない。総て一気に答えようとしないこと。よく言われますが「できる問題から解いていくこと」…困難は分割せよ。ひとつひとつ、冷静に、です。

そしてこれが大事。返却されてきた答案はしっかりと復習すること。一番いいのは総てもう一度テストと同じ時間で解答すること。この習慣が、必ず「次」に繋がります。

昨日、今シーズン最後の競技会に参加しました。残念な結果に終わりました。

終わってから「次」に繋がることを信じて、ひとり練習場で、駄目だったところを復習しました。

そしたら、腰を痛めました。

こういうのを「泣きっ面に蜂」「弱り目に祟り目」と言います。でもへこたれません。

さあ吉中の皆さん、明日のテストに備えて、まだまだやれることはありますよ。

不安だったら少しでも教科書を広げて。1問でも多く問題を解こう！

精一杯やった後の解放感は格別です。ダメだったらまた頑張ればいいだけの話です。